

2020 年 8 月 31 日

7-Eleven, Inc. が CP All とマスターフランチャイズ契約を締結 セブン-イレブンのラオス初進出が決定 セブン-イレブン 1 号店を、首都ビエンチャンに 2022 年内に開店予定

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）の完全子会社である 7-Eleven, Inc.（本社：米国テキサス州アーヴィング）はタイの CP All Public Co.Ltd.（以下 CP All）の子会社とマスターフランチャイズ契約を締結し、2022 年を目途にラオスにセブン-イレブンを開店いたします。

新たにラオスでのマスターフランチャイジーになる CP ALL Laos Co., Ltd. は、タイのセブン-イレブン運営会社として、チャロン・ポカパン・グループによって設立された CP All の子会社です。CP All は、1989 年にタイで初のセブン-イレブンをバンコクに出店して以来、日本に次ぐ約 12,000 店舗を展開しており、2021 年にはカンボジアへの出店も予定しております。ラオスにおいても、世界最大のコンビニエンスストアブランドを背景に、店舗展開、中小小売店の近代化、お客様の利便性向上を目指してまいります。

品揃えについては、世界共通の人気商品、飲料、菓子と共に地元の嗜好に合わせた即食性のあるフレッシュフードを展開する予定です。また、タイでは銀行や請求書の支払い等の金融サービス、デジタル技術、配達などのワンストップサービスを提供しており、ラオスのお客様にも同様のサービスを提供する予定です。

7-Eleven, Inc. President and CEO の Joe DePinto 氏のコメント：

「CP All はタイにおけるセブン-イレブン・ブランドの定着に成功しており、今回のラオスの消費者に当社のブランドを提供するのにも、これ以上良い企業はありません。この関係はまた、ラオスにさらなる雇用と経済的機会をもたらすと考えております。」

【CP All の概要】

1. 会社名 CP All Public Co.Ltd.（CP オール）
2. 代表者 Tanin Buranamanit （タニン ブラナマニット）
3. 事業内容 タイのセブン-イレブン運営会社として約 12,000 店舗を展開
(2020 年 6 月末時点)

セブン-イレブンは、全世界で 71,098 店（2020 年 6 月末時点）を展開し、ラオスはセブン-イレブンが進出する 20 番目の国と地域となります。今後もセブン-イレブン・ジャパンと 7-Eleven, Inc. は両社で連携し、既存地域の強化と新たな地域への出店を通じてグローバル戦略を推進してまいります。

【世界におけるセブン-イレブン展開エリア】世界 19 の国と地域

米国・カナダ・メキシコ・日本・タイ・韓国・台湾・中国（香港を含む）・フィリピン・オーストラリア・シンガポール・マレーシア・ベトナム・アラブ首長国連邦（UAE）・ノルウェー・スウェーデン・デンマーク・インド（2020 年開店予定）・カンボジア（2021 年開店予定）

以上